

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
ひらぎの学童クラブ プリズム		令和7年2月27日			
環境・体制整備	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	6	・任意希望子どもたちが希望にいくようなレイアウトを考える・年齢や性別によって、グループに分けて活動している・非常や非常時のために確保したスペースがありすぎている	・利用定員が増え、狭く感じる・2事業に分けることを検討してほしい
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の数配置は適切であるか。	8	1	・一人ひとりには目が届く程の配置となっている	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構成された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に直し、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	2		・ロッカーの大きさや小さいので、収納方法を検討する・車いす対応にはなっていない
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9		・掃除も行き届いている・子どもたちが過ごしやすい環境に考えられている	
業務改善	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9			
	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参加しているか。	9		・日々の荒つきを共有し改善策を話し合う取り組みができています・日々の記録、毎月の振り返り等、記録がしっかりしている	
	7 保護者向け研修等により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	1		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		・毎日のミーティング、毎月の職員会等、意見を出し合う時間を大事にしている	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。				・外部評価は行っていない
適切な支援の提供	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9			
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9		・職員にも周知している	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9			
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9			
	14 放課後等デイサービス計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9			
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9			
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9			
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9			
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9		・日々子どもの興味や季節感を取り入れた活動になっている	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9			
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9		・毎日行っている・チーム力が向上している・大変な時も気持ちよく働くことができている	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	1		・必ず行っているが、翌日行うことが多い
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9		・5領域を常に意識できる様式を工夫して作成している	
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9			
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	9			
関係機関や保護者との連携	25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定を育てるための支援を行っているか。	9			
	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参加しているか。	9			
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9			・今後より一層強化していく必要がある
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8	1		・学校との情報共有が不十分に感じる
	29 放学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	9			
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。				今はまだ事務がないが今後は必要だと思う
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	9			
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	9		・保育園や学童クラブの子どもたちとの交流も行っている	・地域の子どもたちを開ける活動に参加していきたい
	33 〔自立支援〕協議会等へ積極的に参加しているか。	4	5		・今後の課題として考えている
	34 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	9			
保護者への説明等	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	1		・ペアレント・トレーニングの研修開催が必要・父親参加型の研修を考えていきたい
	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧に説明を行っているか。	9			
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の最優先考慮の観点も踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9			
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9			・信頼関係の構築に努めている
	39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9			
	40 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を創出しているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	3	・昨年度までは月一度”プリズムカフェ”を開催し、保護者同士の交流の時間を設けていたが、駐車場問題があり今年度は中止している	・兄弟が参加できる行事の開催する・保護者会を設けていない・交流行事に参加されない方の交流ができない
	41 こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9		・状況確認や当事者の話を丁寧に聞くことを迅速に行っている	
	42 定期的に連絡等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9			
	43 個人情報取扱いに十分留意しているか。	9			
	44 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9			
非常時等の対応	45 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関わった事業運営を図っているか。	9		・マルシェを開催し、地域の方をお招きしたり、お礼状を配ったりして積極的に関わりを作ろうとした	
	46 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9			
	47 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9			
	48 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状態を確認しているか。	9			
	49 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9			
	50 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9			
	51 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9			
	52 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9			・日常的に話し合う習慣づけをしていきたい
	53 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9			
	54 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9			